

授業科目 国際保健論

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報		
伊藤 隆、古西 勇、 村山 伸子、森脇 健介 他		開講時期	前期	必修選択	選択		
		単位数	1	時間数	15		
【カリキュラムポリシーとの関連性】							
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度	技能・表現
◎		○		○			
【概要・一般目標：GI0】							
<p>国連の推計人口から判断すると今日、世界の人口は約 67 億人ほどと推定される。このうち、先進国には 12 億人程度が暮らし、残りの 55 億人は開発途上国で暮らしている。両者における人々の健康格差は著しい。このような状況の中、保健医療福祉分野における専門家として、将来、開発途上国等における協力・支援活動をすることは重要である。国際的な活動に従事し、効果をあげるための基礎的知識を学習する。</p>							
【学習目標】							
<p>世界の人々の健康水準、わが国保健医療福祉分野における国際協力の現状と課題等につき学習するほか、世界の開発途上国に対する支援の体系を学ぶ。国際的な保健医療活動でのプロジェクト開発、実施、評価、フィードバックの一連のプロセスを理解する。母子保健対策、感染症対策、環境改善、リハビリテーション等の個別テーマについてその概要を学習する。発展途上国における国際協力活動について説明できる。発展途上国における保健医療専門職の連携について説明できる。</p>							
回数	授業計画・学習の主題					SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	世界の保健医療福祉分野における活動の現状と課題						
2	保健衛生指標から見た私たちの世界（世界子供白書から読み取る）						
3	専門職としての私たちの関わり方（世界の障害のある人たちへの支援のあり方と人材育成）						
4	国際保健と医療経済						
5	青年海外協力隊の業務						
6	開発途上国の栄養・食料問題と対策（地域レベルの活動から）						
7	開発途上国の栄養・食料問題と対策（国レベルの活動から）						
8	まとめ						
【使用図書】		<書名>		<著者名>		<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)							
参考書		世界子供白書、入手方法、ユニセフのホームページ(http://www.unicef.or.jp/index.html)、最新の「世界子供白書」をダウンロードできる。		ユニセフ		2011	
		国際協力論を学ぶ人のために		内海成治		世界思想社	2005
その他の資料							
【評価方法】				【履修上の留意点】			
出席・期末試験							